

| カリキュラム区分 | | 3カリ | | シラバス区分 | | 大学院 | | |
|---|--|--------|----|--------|------|--|----|----|
| 科目区分 | 科目コード | 履修時期 | | 開講専攻 | 選択区分 | 科目名（上段：和名、下段：英名） | 時間 | 単位 |
| | | 学年 | 学期 | | | | | |
| 共通教育科目 | M101 | 1年 | 前期 | 医療技術科学 | 必修 | 保健医療システム論 Advanced Study on Healthcare System | 30 | 2 |
| 担当教員 | | | | | | | | |
| 田中 昭子 | 豊田 ゆかり | 川本 龍一* | | | | | | |
| 関連するDPキーワード（看護学専攻） | | | | | | | | |
| | ① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。 | | | | | | | |
| 関連するDPキーワード（医療技術科学専攻） | | | | | | | | |
| <input type="radio"/> | ① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| <input type="radio"/> | ③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。 | | | | | | | |
| <input type="radio"/> | ⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。 | | | | | | | |
| 授業目的 | | | | | | | | |
| <p>保健医療福祉分野の高度専門職業人として機能するために、日本および自己が所属する地域の保健医療福祉に関わる諸制度や政策について現状と課題を分析し、必要とされる役割について自己の見解をもつことができる。</p> <p>地域で生活する人が望む生活ができるために必要な多職種連携とその課題を検討し、システム構築できるために必要なことを探求する。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標（授業目標） | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本および自己が所属する地域の保健医療福祉に関わる諸制度や政策について説明できる。 ・自己の所属する地域や組織・職種の現状と課題を分析し、必要とされる役割について考察できる。 ・地域における医療依存度の高い事例の多職種連携の実際からシステム構築の必要性を考察できる。 ・多職種連携における対立について解決方法を考えることができる。 | | | | | | | | |
| 授業計画（項目・内容と方法・担当者） | | | | | | | | |
| 回 | | | | | | | | |
| 1回 | ガイダンス（講義・演習）担当教員：田中昭子 | | | | | | | |
| 2回 | 保健医療福祉に関わる諸制度や政策（講義・演習）担当教員：田中昭子 | | | | | | | |
| 3回 | 自己の所属する地域や組織・職種の現状と課題、必要とされる役割について（プレゼンテーション・討議）（1）担当教員：田中昭子 | | | | | | | |
| 4回 | 自己の所属する地域や組織・職種の現状と課題、必要とされる役割について（プレゼンテーション・討議）（2）担当教員：田中昭子 | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| 5回 | 自己の所属する地域や組織・職種の現状と課題、必要とされる役割について（プレゼンテーション・討議）（3）担当教員：田中昭子 |
| 6回 | 自己の所属する地域や組織・職種の現状と課題、必要とされる役割について（プレゼンテーション・討議）（4）担当教員：田中昭子 |
| 7回 | 愛媛の地域医療を考える（講義）（1）担当教員：川本龍一* 地域医療の経験からみた愛媛の地域医療の現状と課題 医学教育における地域保健医療の人材育成 地域特性に対応したケアシステムについてディスカッション |
| 8回 | 愛媛の地域医療を考える（講義）（2）担当教員：川本龍一* 地域医療の経験からみた愛媛の地域医療の現状と課題 医学教育における地域保健医療の人材育成 地域特性に対応したケアシステムについてディスカッション |
| 9回 | 愛媛の地域医療を考える（講義）（3）担当教員：川本龍一* 地域医療の経験からみた愛媛の地域医療の現状と課題 医学教育における地域保健医療の人材育成 地域特性に対応したケアシステムについてディスカッション |
| 10回 | 愛媛の地域医療を考える（講義）（4）担当教員：川本龍一* 地域医療の経験からみた愛媛の地域医療の現状と課題 医学教育における地域保健医療の人材育成 地域特性に対応したケアシステムについてディスカッション |
| 11回 | 地域における医療依存度の高い事例の多職種連携（講義・演習）（1）担当教員：豊田ゆかり 医療的ケア児の在宅生活支援のための専門職連携の実際とシステム構築 |
| 12回 | 地域における医療依存度の高い事例の多職種連携（講義・演習）（2）担当教員：豊田ゆかり 医療的ケア児の在宅生活支援のための専門職連携の実際とシステム構築 |
| 13回 | 信念対立解明アプローチ（講義・演習）（1）担当教員：豊田ゆかり <事前学習>（参考資料・図書）を読み、提示した事例について検討してくる。 システムが動くために必要な考え方と各自の取組み |
| 14回 | 信念対立解明アプローチ（講義・演習）（2）担当教員：豊田ゆかり <事前学習>（参考資料・図書）を読み、提示した事例について検討してくる。 システムが動くために必要な考え方と各自の取組み |
| 15回 | 地域包括ケアシステム（講義・演習）担当教員：豊田ゆかり 地域に根ざした保健医療システムとその活動方法 |
| 16回 | |
| 17回 | |
| 18回 | |
| 19回 | |
| 20回 | |
| 21回 | |
| 22回 | |
| 23回 | |
| 24回 | |
| 25回 | |
| 26回 | |
| 27回 | |
| 28回 | |
| 29回 | |
| 30回 | |
| 成績評価方法及び基準 | |
| プレゼンテーション60%、討議への貢献度40%。トータル60点以上を合格とする。 | |
| 教科書 | |
| 参考図書等 | 授業中に参考資料を提示します（豊田） <参考図書> 京極真：信念対立解明アプローチ入門,中央法規,2012 |
| 授業時間外の学習について（授業準備のための指示） | |

3～6回はプレゼンテーションするため、資料作成など事前準備が必要である。

関連科目

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 前科目 | | | | | | | | | |
| 後科目 | 専門科目すべて | | | | | | | | |

実務家教員

| | | | | | | | |
|-----------|--------|--|--|--|--|--|--|
| 保健師（行政機関） | 田中 昭子 | | | | | | |
| 保健師（行政機関） | 豊田 ゆかり | | | | | | |
| 医師（医療機関） | 川本 龍一* | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

備考